

令和 5 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 6 年 3 月 8 日

江別市立豊幌小学校

1 本年度の重点目標

・「3つのつながり」で確かな学力を身に付けさせる
 (授業でのつながり 異学年とのつながり 社会・地域とのつながり)

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	教育目標の具現化に向け、協働による学校経営を推進しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「3つのつながり」で確かな学力を身に付けさせる(授業でのつながり 異学年とのつながり 社会・地域とのつながり)を重点として、組織体制を整備し運営に努めました。 ・全教職員で「ICTを効果的に活用して、対話を重視した授業改革」に取り組み、ICT機器の環境整備と授業や家庭での活用を推進しました。 ・職員朝会の持ち方を見直し、朝の児童の様子を見取ることができるようにしました。 今後も、全教職員の協働による学校経営に努めます。	A	A
	子どもたちは安全に生活できる環境の中で、快適な学校生活を送ることができているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導、避難訓練(火災・地震・不審者対応)の他、日常的に校内外の安全点検や修繕を行いました。 (通学路合同点検、PTA環境整備係によるグラウンド・学級花壇の草取り、散水栓漏水修繕、グラウンド非常口修繕、地盤浸食修繕、水道管突起修繕) ・開錠のない学校における不審者対策(通知)に基づき、玄関の開錠・施錠について見直しを行い、教職員の理解を図るとともに、学校利用関係者へ周知をしました。 ・浸水地域要配慮施設における避難マニュアルを作成し避難協力者等に周知しました。 今後も、命を守る訓練や安全な環境維持に努めます。	A	A
	主体的・対話的で深い学びの実現と体力の向上を図ることができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員でICTを効果的に活用して、対話を重視した授業改革に取り組みました。従来の一斉教師指導型ではなく、子ども達が多様な考えに触れ、対話を通して思考を深める時間を確保する授業づくりに努めました。 ・体力向上プランに基づき、体育の授業に加え、外部講師を招いた走り方教室を実施したり、マラソンや縄跳びに取り組む週間を位置付けたりして体力向上に取り組みました。 	A	A

			健康や体力向上への意識を高める指導に努めます。		
	保護者や地域住民に対する情報発信が適切に行われたか。	B	・定期的に学校だよりや学年通信、ほけんだより、小中一貫便り等を発行したり児童の様子をHPで掲載したりするなど学校の様子をお知らせしてきました。保護者が参加しなければならない行事は早めに周知してほしい旨のご意見をいただきました。今後は、できるだけ早めのお知らせを心掛けます。	A	A
教育課程・学習指導	指導方法の工夫改善に取り組み、確かな学力が身に付くような「わかる授業」を行うことができたか。	A	○わかりやすい授業の取組 ・教職員の資質向上を図るとともに、校内研修等を計画的に行い、算数科において数学的思考を働かせる授業づくりの研究を進めました。 ・今年度から、3～6年生で理科専科教諭が配置され、専門的な授業を実施することができました。 ・全国学力学習状況調査結果及び学力検査をもとに、学校改善プランを作成し、学年の傾向に合わせ分析に基づいた授業改善に努めました。 対話を重視した授業改革を進め、わかって楽しい授業を目指します。	A	A
	確かな学力を身に付けるために家庭と連携した取組を進めることができたか。	B	・家庭学習習慣、学習ノート週間を設け、家庭における学習習慣の強化、他学年の取組に触れる機会を設定し、学びの促進を図りました。 ・11月に読書週間、学校司書による読み聞かせを全学年で実施し、様々な本に触れる機会を設けました。 家庭での取組につながる情報提供や研修の機会を検討していきます。	B	A
生徒指導	学校は、子どもの悩みや問題に寄り添い、家庭と連携しながらいじめのない学校づくりに取り組んでいるか。	A	・5月、11月にいじめアンケートを実施しました。悪意がなくても、相手が嫌な気持ちをしている場合は積極的にいじめとして認知をして解決に向け素早く対応するよう努めました。また、良かれと思っていたことであっても相手の気持ちを考えて思いやの気持ちを持つ指導を行っています。5月では7件、11月は20件認知し、丁寧に話を聞き、親和的な人間関係となるように指導しました。 子どもたちの人間関係の変容を丁寧に見守っていきます。	A	A
	家庭や地域との連携に努め、基本的な学習・生活習慣の確立や安心安全のための取組を進めたか。	B	・児童会書記局が玄関に立ちあいさつ運動を実施しました。「“挨拶”や“返事”、“正しい言葉遣い”を身に付けている」について、低学年を含めてもう少し言葉遣いを徹底して指導してほしいというご意見をいただきました。 日常的に気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉を使う指導を徹底していきます。 家庭において、ルールを守っている回答では児童、保護者間で差が大きくなりました。 家庭教育に関する研修の情報提供に努めます。	A	A

小 中 一 貫 教 育	学校は、 小中一貫 教育や地 域連携の 取組を計 画的に進 めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像に向け、江陽中学校との合同体力テストや乗り入れ授業、中学校授業参観、恵明園クリーン作戦、長期休業中の学習支援、中学生職場体験等を行いました。 ・小中交流会、小中ブロック研修会を実施し、江陽中、江別太小との交流を行いました。 小中9年間の学びが連続性のあるものとなるように全学年で進めていきます。 	A	A
----------------------------	--	---	--	---	---

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員のご意見】

- ・これからも地域と学校が協力した子どもたちのよりよい環境作りよろしくお願ひいたします。いつもありがとうございます。
- ・豊幌小学校の子供たちはみな素直で明るく元気いっぱいです。これからも子供たちが毎日明るく元気に楽しく通うことができるように、引き続き先生方の子どもたちに寄り添ったご指導をよろしくお願ひします。私も地域の一員として微力ながらお手伝いできることがあれば協力を惜しみません。
- ・小規模な学校ということもあり学年問わず、児童全体に対して細やかな指導ができていると子供が卒業して数年たちますが、今でも感謝しています。保護者も自分の子と学年が違う子たちも知っていて会話をすることができ、地域とのつながりが大きいと思います。
- ・生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導が行き届いていますし、地域との交流も盛んで、子どもたちの成長を全面的にサポートできる環境が整っている学校だと思ひます。
- ・学習において理解している子とそうでないこの差が大きく、そこが今後の課題なのかと思ひています。
- ・玄関の施錠・会場との関連で、自宅を出発した子供たちが、所要時間内に教室に到着しているのかの確認はできていますか。教室で先生たちが子供たちを迎えていると聞いていますが、到着していない生徒を確認した場合、何らかの対応が必要なのではないでしょうか。
- ・小中一貫教育の取り組みには今後も期待したいと思ひます。
- ・小中一貫教育について積極的に進めてほしい。

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない